

## トヨタと連携した改善指導員の育成 ～新しい武器を手に入れた10名の普及指導員～

県では、平成26年度からトヨタ自動車(株)(以下、トヨタ)と連携して、トヨタが製造業で培った現場改善のノウハウを活かし、農業における生産工程の効率化の実証に取り組んでいます。この取り組みを普及していくためには、普及指導員がトヨタの現場改善のノウハウを身につけた上で、農業法人などの担い手の経営改善のサポートを行うことが必要です。

そこで中央普及支援センターでは、平成28年度から生産流通課と(公財)いしかわ農業総合支援機構と連携し、トヨタの専門スタッフを講師として招き、普及指導員を対象とした研修を開始しました。

### ★研修のねらいと概要

トヨタの現場改善の考え方は、人の動きや作業の仕方に着目し、生産工程における「ムラ・ムリ・ムダ」を取り除くことで作業効率を高め、コストの低減を図るものです。

この研修では、県内の5つの農林総合事務所から2名ずつ計10名を対象に、座学でトヨタの現場改善の考え方や具体的な手法を学ぶことで、現場改善に必要な視点や能力を習得し、習得した知識を農業に応用してモデル法人と一緒に現場の課題解決に取り組むことで、ノウハウの習得と改善指導のスキルアップを図りました。

### ★今後の展開

普及指導員がこのノウハウを習得することができれば、栽培に関する技術支援だけでなく、「作業の効率」に着目した新しい視点での担い手の収益向上が可能となります。今後はモデル法人での実証を踏まえた上で、研修内容をさらに充実させ、県内への普及拡大に向けてサポート体制を整えていきます。



農業現場の問題をテーマにした課題解決



トヨタ専門スタッフによる講義

問い合わせ先：農林総合研究センター農業試験場  
中央普及支援センター  
(076-257-9150)